



ちょっと いいかい(医~介)

Vol.10



毎日服用する薬や症状に応じて調整する薬などがあります。「どれを飲んだらよいかわからない」「薬が余ってしまう」など、その管理に困ったことはないでしょうか？

訪問薬剤ってなに？

医療保険や介護保険には薬剤師が薬を持って自宅を訪問する制度があります。薬を届けるだけではなく、薬を正しく服用、管理できるようにサポートしていくのが訪問薬剤です。

利用者の方へのインタビュー！

Q 薬剤師が訪問をしてくれたきっかけは何ですか。

A 夫ががんで余命を宣告されました。入院か在宅かを決定しなければいなくなった時に夫は家での最期を希望しました。病院の相談員に相談し介護申請をしました。そして、医師、訪問看護師、ケアマネジャー、薬剤師が家に来てくれるようになりました。

Q 薬剤師にはどのようなことをしてもらいましたか。

A 夫は痛みをとってほしいとの希望が強かったので、薬の量に応じて訪問してくださり、最期には週1～3回来ていただきました。定時の薬や痛みが強い時の薬等がありましたが間違わないように管理してくださりました。おかげで夫は穏やかに最期を迎えることができました。

夫が亡くなった後、私は独居になり、運転が出来ないため病院にも行くことが出来なくなりました。また、他の人と話をする気持ちも持てなくなりました。しかし、引き続き自分の健康管理に医師、訪問看護師、薬剤師が訪問してくれています。市の介護予防教室に参加するきっかけも薬剤師からのご紹介があったからです。



磯薬剤師と小森さん



Q 磯和宏薬剤師の薬剤師としての想いを教えてください。

A わたしの私生活はとてはずぼらです。だからこそ、1日3回、寝る前もあると4回、毎日毎日薬を飲み続けることは難しい事だと思っています。また、薬局での薬の受け渡しだけで「正しく飲めているか」「どうすれば服用の負担が減るか」個別に対応するには限界があります。生活の場に何うことで、その人に合ったスタイルを考え、お薬の不安や負担を軽減して「自分らしく暮らす！したいことができる！」サポートをしていきたいと思っています。

薬剤師に訪問してもらうには、かかりつけ医、薬剤師、ケアマネジャー、訪問看護師等にご相談ください。